

平成23年度「JAPANブランド育成支援事業」採択プロジェクト一覧
(戦略策定支援事業)

NO.	都道府県名	事業実施者	事業概要
1	北海道	社団法人旭川建設業協会	【モンゴルにおける寒冷地対応(北方型)住宅ブランド育成】 北海道の産学官連携により開発された高断熱・高気密な寒冷地向け住宅『北方型住宅』の関連技術を活かし、寒冷地モンゴルへの販路開拓を進めていくため、市場や参入方策・販売戦略等の調査を行い、寒冷地対応住宅ブランド戦略の策定を行う。
2	北海道	旭川商工会議所	【旭川クラフト・ブランド推進・海外販路構築プロジェクト】 旭川地域に集積する木工関連産業が持つ優れた技術やデザイン、ノウハウを明確にした上で、基本戦略や産地ブランドコンセプトを確立する。 また世界の情報発信地であるバリを「旭川クラフト」というブランドの発信地とするための調査、販路拡大を実施し、将来的には欧州市場、アジア圏、特に中国(北京・上海)での販路拡大を目指す。
3	岩手県	一般社団法人安代リンドウ開発	【海外市場での「安代りんどう」ブランド定着化事業】 アジア・北米の花弁消費者層に対し、日本の花「安代りんどう」をブランドとして定着させるため、専門家を招聘のうえ、今後の輸出版売の促進に資するためのブランド戦略策定を行う。 具体的には本事業の実施次年度において、「安代りんどう」の3カ年計画で「安代りんどう」の展示会の実施、現地で馴染みのない「安代りんどう」の楽しみ方を教育するワークショップの実施、「安代りんどう」の日持ちの良さや美しさを伝えるフライヤーやポスターの制作と配布などを計画しているが、対象マーケットの動向の把握、色や姿形の嗜好の調査を通じ、これら一連の広報宣伝活動を通じたブランド化戦略の効果的な方法、実施時期、具体的なターゲット等を明確化し、次年度以降のブランド確立の事業展開を成功に導くための戦略を策定する。
4	東京都	江戸の酒蔵・佐久良会	【JAPANブランド「江戸の酒蔵」】 江戸時代に興った江戸方の酒蔵は、水と米の生産環境に適し、生産増と共に飛躍的に技術が向上、現在に至っている。江戸文化としての日本酒を海外に普遍的普及を目的としてJAPANブランド「江戸の酒蔵」を企画する。
5	東京都	地域横断連携日本酒のブランド化協議会	【オーストラリアにおける地域横断連携による日本酒のブランド化・販路開拓推進プロジェクト】 特定産地のブランドではなく、日本の各地域の蔵元が横断連携して「日本酒」全体のブランド価値向上を実現するために、EPA交渉が進み、今後日本酒への関心も高まる可能性の高いオーストラリアに焦点を絞って市場調査を行う。
6	神奈川県	特定非営利活動法人 アジア起業家村推進機構	【日越金型ブランド化事業】 金型産業を始めとした裾野産業(参画事業者)が、今後ベトナムに進出し成功するための現状の問題点を日越双方の視点から整理し、その解決の方法、販路拡大方法を検討しブランドコンセプトと基本戦略を具体的に策定する。
7	新潟県	スモンテキスタイル	【栃尾織物「おりなす」ブランド海外輸出戦略プロジェクト】 繊維の街である栃尾産地の織物ブランド「おりなす」を国内に絞らず、広く海外へ広めていき、栃尾産地の知名度、ブランドの知名度向上と海外市場での販売戦略を構築する。 中国を中心とした海外市場での売上増加をしていくために、海外市場の調査をし、海外向け商品開発、販路開拓を図る。「おりなす」ブランド織物として商品価値を高めた生地アピールにより販売力を強化させていくための戦略の確立。
8	静岡県	三ヶ日ブランド国際化推進協議会	【農業産業化・地域活性化を実現する「Mikkabi」ブランド海外展開プロジェクト】 本プロジェクトでは、既に国内でブランド化された三ヶ日みかんを海外へ販路拡大するために、特殊なみかんペーストを用いた付加価値の高い商品を開発し、生食用みかんと併せて売り込むことで海外でのMikkabiブランド確立を目指すものである。
9	群馬県	特定非営利活動法人群馬県ものづくり研究会	【「ぐんま次世代自動車向け高度金型ブランドプロジェクト」】 群馬地域企業の持つ小型化・軽量化につながる高度金型技術を中核に、次世代自動車の海外市場での可能性について、専門家とともに調査を行う。その結果を踏まえ、将来的には、北米市場、欧州市場等への次世代自動車分野への進出を目指す。
10	栃木県	両毛シルクワールド研究会	【両毛シルクワールド・プロジェクト】 伝統的なシルク繊維産業が残る足利・桐生の両毛地域の中小製造業が連携し、欧州市場で販路を持つ海外商社と連携し、欧州市場の繊維製品の最新情報を共有し新たな戦略商品の開発に取り組む仕組みを構築する。

11	埼玉県	社団法人さいたま観光コンベンションビューロー	<p>【「大宮の盆栽」JAPANブランド化プロジェクト】</p> <p>欧米を中心に海外でも認知されている「大宮の盆栽」ブランドを確固としたものにするため、国内、海外における市場調査、盆栽文化普及度調査、ヒアリング調査等を実施することにより、「大宮の盆栽」ブランドの価値を高める戦略を策定する。</p>
12	茨城県	ひたちなか商工会議所	<p>【「NIPPONIAプロジェクト】</p> <p>農林水産物の南限・北限に位置する当該地域特性を生かした伝統的な食の資源活用による新たなブランドとして「NIPPONIA」を立ち上げ、日本の伝統的な食文化(素材・食器・調理法・作法・デザイン)を見直し、感動を新たな形でブランド化し、海外へ日本の食文化を発信する。</p>
13	愛知県	株式会社サイエンス・クリエイト	<p>【三河・遠州地域の香港向け食農文化輸出戦略の策定】</p> <p>多くの農産物について国内トップクラスの生産額を誇る三河・遠州地域において、これらを活用した事業開発(製品開発、販売チャンネル開拓、ブランド化等)を行うことを目指して、香港市場をターゲットとした市場調査を実施し、当地域の「食農分化輸出戦略」の策定に取り組む。</p>
14	岐阜県	土岐市陶磁器卸商業協同組合	<p>【「美濃焼」の海外新販路開拓】</p> <p>古くから「台所・食卓用品」分野の陶磁器として発達してきた「美濃焼」の海外展開について、特にタイ・シンガポールをターゲットとして現地の食文化にあわせたデザイン・サイズ・素材等を調査分析し、海外販路開拓のための戦略策定を行う。</p>
15	三重県	HECMECブランド事業実行委員会 三恵工業株式会社	<p>【日本のエコを世界へ！～未来の子どもたちのために、安全安心、環境、をデザインしたHECMEC(ヘックメック)ブランド事業】</p> <p>サステナブル(安心・安全、環境配慮)なデザインを形にした新ブランド「HECMEC」をヨーロッパの環境意識の高い層に向けて展開を目指す。</p> <p>「HECMEC」は中部の環境配慮型モノづくり推進プラットフォーム「エコプロネット」※ から生み出された。産学官の連携で、中部地域の強みであるモノづくり技術・ノウハウを、環境という切り口で更に競争力を高め、またエコプロダクツ市場を創出していく取組みの中から、企業間連携でサステナブルなデザインを追求した結果、地球にやさしい紙の折りたたみイスHECMEC(HM01)が開発された。</p> <p>HM01は、製品のライフサイクルを通して環境負荷が少ないだけでなく、安心安全に配慮したデザインや、環境教育教材としても使える仕掛け・仕組みも組み込まれている。</p> <p>HECMECのコンセプトとその商品を環境先進地域であるヨーロッパで展開する事を通し、中部のサステナブルなモノづくりに加えてその心や文化、サステナブルな仕組みづくりも含めたデザインを世界に向けて発信できるブランド「HECMEC」を目指す。加えて、日本国内における更なるエコプロダクツ市場の活性化と中部地域の環境配慮型モノづくりの更なる活発化(仲間づくり)を目指す。</p>
16	三重県	四日市機械器具工業協同組合	<p>【四日市から世界へ！ IH技術海外市場開拓プロジェクト】</p> <p>四日市を中心とした三重県北勢地域においては、産業機械向けのノウハウを蓄積した、日本が得意とする環境配慮型技術である「IH技術」が日本で唯一集積しており、四日市機械器具工業協同組合を中心とする当該地域の企業に発注すればニーズに応じた製品開発ができるという信頼性「四日市IHブランド」が確立されています。この技術をグローバル企業本社が集積するアメリカにおいて展開し、IH技術のメリットを活かした産業分野別の具体的戦略を策定する。このことにより、今後の世界市場に向けた販路拡大策を具体化することができるとともに、四日市機械器具工業協同組合会員企業のさらなる技術力向上を目指す。</p>
17	富山県	富山県金型協同組合	<p>【金型関連企業の地方集団におけるインドネシアへの事業展開とその将来性】</p> <p>単独では海外進出が難しい中小の金型関連企業が地方集団を形成し、インドネシアへの展開とその将来性を探る。また、産業構造が確立していないインドネシアにおいて金型市場の育成とブランド創生への指針を策定する。</p>
18	京都府	京都府茶協同組合(仮称)京都・宇治茶海外市場展開検討協議会	<p>【海外市場における「京都・宇治茶」のブランド確立に向けた戦略策定プロジェクト～世界に誇るJAPANブランドとしての宇治茶の市場展開を目指して～】</p> <p>当協同組合員企業は、主力商品として“急須に入れて抽出する茶葉”を取り扱う事業者の集まりである。茶葉の消費量が激減する現状ながら、①“京都・宇治茶”のブランド価値の見直し、②海外市場にアピールするための展開プログラムの立案、という2本柱をたて、本事業に取り組むものである。</p>
19	兵庫県	三木商工会議所	<p>【“豊かなライフワークを創造するツール”プロジェクト】</p> <p>三木金物は400有余年にわたる歴史に培われた技術と伝統をもち、平成9年には鋸、のみ、鉋、鋸、小刀の5品目が播州三木打刃物として経済産業省の伝統的工芸品産業に指定された。</p> <p>そこで、これまで培ってきた高い技術力を活かし、自分好みのオンリーワンの道具をカスタマイズできるフルオーダーシステムを開発する。キッチン、リビング、ガーデンなどの新しいライフスタイルに対応しう分野に視野を広げ、一人ひとりのこだわり・欲求に応え、気軽にライフワークを楽しんでもらえるトータルブランドをプロデュースするものとする。</p> <p>このシステムをもって国内外における新たな市場開拓を進め、MIKIブランドを世界に確固たるブランドとするための戦略を策定し、事業を推進していくことにより、三木金物業界の意識のレベルアップと活性化に繋げ、産地における今後新たな展開を図るための礎とする。</p>

20	和歌山県	日置川町商工会	<p>【紀州ひきがわ～紀州日置川鮎・紀州備長炭・紀州本藍染・紀州川添茶～JAPANブランド計画】</p> <p>紀州日置川の鮎、紀州備長炭、紀州本藍染、紀州川添茶は地域を代表する産品である。今回、日置川地域の住民と商工業者が協力し「日置川の産品」をJAPANブランドとして確立し、国内だけではなく海外に販路を拡大し大いにその活性化を図る。</p>
21	和歌山県	和歌山ニット工業組合	<p>【和歌山ニット海外販路開拓プロジェクト】</p> <p>当産地のニット製品が、次年度以降ジャパンブランドとして、欧州を中心とした高級アパレルへ向けて販路開拓を実施するにあたり、マーケット規模やターゲットの選定、展示会等の商談機会の概要、貿易取引の問題等、販路開拓を具体的に推進する為に、専門家とともに事前調査する。</p>
22	鳥取県	トトリプロダクツ協議会	<p>【鳥取の地域資源である「鳥取の材」「鳥取の技」「鳥取のデザイン」の活用をした世界に通じるプロダクツ製品の開発とジャパンブランドの構築】</p> <p>鳥取の地域資源である「智頭杉」や「因州和紙」などを活用し、それに地元に残る伝統的技術と、金属や電気、セラミックなどのハイテク技術を融合させ、新しい地域産業のシナリオ作成、デザイン化のための『戦略策定』を行い世界に通用するプロダクツ製品を開発し、ジャパンブランドに育て上げる。</p>
23	広島県	福山商工会議所	<p>【「日本最古のリキュール&健康酒である保命酒と関連商品を世界ブランドに」】</p> <p>保命酒は万治二年大阪の漢方医の子孫によって備後、鞆の津で醸しだされた日本最古のリキュールで薬酒という世界でも類をみない健康酒。保命酒とその関連商品を「保命酒商品群」とし、健康を意識する海外マーケットへ積極的に提案すべく調査事業を実施する。</p>
24	広島県	神辺町商工会	<p>【～ドバイ(中東地域)への進出～シルクロードを金襴(きんらん)で結ぶ「HIROSHIMA-ORIMONO(広島織物)プロジェクト】】</p> <p>広島県東部に栄えた高級織物である「備後金襴(びんごきんらん)」を素材として、ものづくりの街・福山の高度な技術力を融合させた「HIROSHIMA-ORIMONO(広島織物)」をブランド化し、ドバイ(中東地域)への展開を考え、インテリア&ギフト市場への参入を試みるものとする。</p>
25	山口県	山口県中小企業団体中央会	<p>【日本の伝統文化を加味した「萩焼海外展開プロジェクト】】</p> <p>400年あまりの歴史を持つ萩焼は、「一楽、二萩、三唐津」と呼ばれる我が国を代表する焼物の1つで、山口県を代表する伝統工芸品である。萩市内には80余の萩焼窯元があり、観光産業と並ぶ萩市の基幹産業として、伝統的な作家から現代陶芸の作家までさまざまな活動を展開している。しかしながら、近年の国内消費の構造変化等から、萩焼製品の販売額が低迷し、窯元や販売店の廃業が相次ぐ厳しい状況となっている。</p> <p>本プロジェクトは、中国のバイヤーやデザイナーの協力を得て、成長著しい中国市場のニーズにあった萩焼の明確なブランドコンセプトと基本戦略を策定し、海外の販路を開拓することで萩焼業界の再生を図るものである。</p>
26	愛媛県	いしづち森林組合	<p>【四国いしづち材を使った高断熱エコ住宅システムの中国富裕層への販売、及び、原木・木材製品販売による、いしづち材の販路拡大】</p> <p>四国最高峰石鎚山を含む52,600ヘクタールに上る豊富な地元資源「いしづち杉・檜」を活用して、高断熱エコ住宅システムを開発し、中国沿海部の富裕層市場に販売することを主眼に、原木・木材製品も中国市場に販売する戦略を策定する。その戦略実現により、いしづち材の海外販路の拡大、地域中小企業の振興と地域経済の活性化を実現する。</p>
27	福岡県	欧州販路開拓プロジェクト研究会	<p>【ものづくり九州！世界を拓くブランド戦略プロジェクト】</p> <p>大手メーカーからの製造受託で、厳しい品質管理に対応している中小企業には、優れたものづくり技術が継承されている。</p> <p>この中小企業の技術を新たな分野である消費財市場において活かし、自らの製品として製造・販売するための「世界を拓く地域ブランド」の立ち上げを共同体を形成することで目指していく。</p> <p>セミナー、専門家を交えた勉強会、市場調査を行い、世界で通用する、生産力、販売力を確立していく。</p> <p>また、技術のブランド化を進める上で、その定義や使用制限、品質管理、運営体制を検討していく。</p>
28	熊本県	九州杉家具インテリアデザイン推進協議会	<p>【九州杉家具インテリアデザインプロジェクト】</p> <p>九州地方は、自然気候条件に恵まれ、江戸時代に始まったとされるスギの植林技術と伝統的木工技術、木工製品が受け継がれ、国内の木材需要を支えてきた。</p> <p>本事業では、県を超えた形で九州地方の伝統的木工技術の検証と再生を基盤にしながら、九州の伝統的技術、素材と新加工技術、新素材を組み合わせ、九州の生活文化をテーマとする家具インテリア空間の商品開発を行う。</p> <p>九州各県が連携することにより、素材供給体制、加工技術、製品、デザイン等の品質基準、管理体制、強い生産力をつくり、基本理念やロゴの統一を図り、国内はもちろん、世界に通用するブランドをつくる。</p>
29	熊本県	くまもと南園の匠協同組合	<p>【熊本ベジフル&フィッシュ海外市場開拓プロジェクト】</p> <p>アジア諸国の富裕層等をターゲットとし、当組合が擁するプレミアム農水産物や加工品の輸出先・ルート・選定等を盛り込んだ市場開拓戦略及び輸出ブランド基準の策定。また、これまでの海外交流等を基にした輸出予定国の市場開拓調査及び市場開拓に対する会員意識の共有を図るため海外市場開拓セミナーを開催する。</p>

30	沖縄県	「ISIGAKI Natural Seasonings」ブランド創出プロジェクト協議会	<p>【生命の海・癒しの島から「ISIGAKI Natural Seasonings」ブランド創出プロジェクト】</p> <p>石垣の「海」(ミネラル)と「島」(農産物)の融合で、地域独特の自然の力を引き出したプロダクトを展開する。商品戦略としては、ピパーツ(島胡椒)に象徴される地域産の素材と既に一定の市場を確保している地域ブランド「石垣の塩」を活用した新商品を開発。これを基軸として世界に通用する石垣オリジナルの「天然素材調味料」ラインナップを創り出す。</p>
----	-----	---	---

平成23年度「JAPANブランド育成支援事業」採択プロジェクト一覧
(ブランド確立支援事業(1年目))

NO	都道府県名	事業実施者	事業概要
1	北海道	寒冷地水環境システム研究会	【海外寒冷地住宅用水環境プロジェクト】 北海道の優れた寒地技術の海外寒冷地への提供であって、 (1)北海道仕様寒冷地住宅の宅内水道凍結防止システムの提供と販路の開拓 (2)平成22年度調査結果から極東ロシアサハリン州で求められている寒冷地仕様の水処理システムの試作開発 上記の実施により、寒冷地住宅用水環境設備のブランド確立を目指す。
2	北海道	社団法人北海道農業機械工業会	【北海道の優れた畑・野菜用機械のヨーロッパ市場開拓プロジェクト】 北海道の農機メーカーが製造している高機能な畑・野菜用農業機械のブランド化を進め、農家の経営規模や営農技術がほぼ同じであるヨーロッパ市場への販路開拓を行うため、AGRITECHNIKA 2011へ出展するとともに、EU圏における販売戦略及び製品メンテナンス方を策定、体制の整備を進める。
3	群馬県	こどものえがおプロジェクト推進協議会	【桐生地域の優れた繊維技術を結集した、「こどものえがお」増大プロジェクト】 全国有数の繊維産地である桐生地域の高度な複合的技術を結集し、独自に編集することで、世の中で起きている子供に関わる諸問題の解決を図りつつ、脱下請になりうるオンリーワン商品を開発、超少子高齢化の日本から欧米やアジアへのブランド展開を目指す。
4	東京都	社団法人日本金型工業会	【「AAA+A KANAGATA」トリプルエー・プラス・エー金型 ブランド確立プロジェクト】 全国の本漆塗りの技術と文化を、主としてガラスとマッチングさせ、内装材として現代の生活として活かした「クールジャパン塗りの」ブランディングならびに中国、欧州への販路拡大。
5	東京都	Rhus Project	【Rhus Project(手仕事、本漆の文化を活用実践する専門家プロジェクトチーム)】 全国の本漆塗りの技術と文化を、主としてガラスとマッチングさせ、内装材として現代の生活として活かした「クールジャパン塗りの」ブランディングならびに中国、欧州への販路拡大。
6	神奈川県	協業組合ヨコハマクラシック家具グループ	【ヨコハマ発全世界行、クラシック家具ブランド構築プロジェクト】 国際港湾都市ヨコハマに相応しい地元ブランドの価値を創出すべく、和洋折衷をコンセプトとした高度な「デザイン性」、「機能性」、「信頼性」を兼ね備えた高付加価値家具商品の開発と海外市場への提案に取り組む。
7	新潟県	新潟産錦鯉ブランド構築研究会	【新潟県産錦鯉の新規国際市場開拓プロジェクト】 世界最高品質を誇る新潟県産錦鯉の付加価値と優位性を、世界の潜在市場における愛好家や流通業者に対してITおよび実際の物流を通じて伝える。さらに、単にその美的価値をアピールするだけでなく、正しい飼育技術や取扱い方法、鑑賞方法などの教育に重点を置くことで、安定的かつ継続的新規市場の確立を図る。
8	新潟県	燕商工会議所	【デザインによる地場産品の高付加価値化とヨーロッパへの販路開拓】 フェラーリ、マセラッティなど、ヨーロッパの自動車のデザインを手がけた奥山清行氏より、カトラリーなどの地場産品のデザインをし、サンプルを試作しヨーロッパの主要見本市に出展し販路開拓する。
9	新潟県	日本金属ハウスウェア工業組合	【金属ハウスウェアブランド育成プロジェクト】 昨年度、JAPANブランド育成支援事業(戦略策定支援事業)「金属ハウスウェア(調理器具)ロシア市場開拓プロジェクト」において、金融危機克服、GDPの向上、貿易黒字、地下資源活用で十分な経済体力を持ち新たな富裕層が誕生しつつあるロシア・モスクワで金属ハウスウェアの需要等を調査し、MADE IN JAPANの調理器具の普及と販路拡大を日本食文化と共に発信しながら、金属ハウスウェアのブランド化による国際化とブランド化が図れることを確認できた。このことより、ロシア市場が求める商品の開発と同時にブランドを策定することとした。
10	栃木県	小山商工会議所	【かんぴょう粉末(夕顔の実の粉末)とかんぴょううどん麺の海外市場へのブランド戦略】 アジアでしか栽培されていない、かんぴょう(夕顔の実)を粉末化し、「食材」としての新たな可能性を見出した技術を活かし、ブランド育成と戦略的なデザインマネジメントによるイノベーションを起こし、海外市場開発を行うことを目的とする。

11	静岡県	協同組合焼津共同冷蔵	<p>【ヤイツ「ほんものさかなクン」ブランド確立アジアプロジェクト】</p> <p>かつお由来エキスは中国・ベトナムでは都市部業務用、マグロ由来コラーゲン是中国・ベトナムでは都市部富裕層をターゲットに包材を改良し、現地バイヤーへの商談・売込みを実施する。さらに、いずれも成長著しいタイ・韓国の関連展示会に出展求評を得る。(なお、エキスについて韓国はキムチ調味料) 加えて、過去に中国・ベトナムにて提案した「さばレトルト」をベースに「かつお・さばレトルト(コチジャン味)」、「さばスモーク」を新たに試作ラインナップに追加、中国・ベトナム・タイ・韓国での求評を行う。</p>
12	長野県	千曲商工会議所	<p>【千曲市地域、金型及び関連製品のインドネシア市場・販路開拓プロジェクト】</p> <p>グローバル経済下における千曲市地域企業の存続のため、金型及び関連製品のインドネシア地域での新たな市場・販路開拓を行なう。海外ミッション派遣、展示会参加等を通して、千曲市地域企業又は団体と、インドネシア企業又は関連団体との、販売実績を作り、本格的販売ルートの構築を図る。</p>
13	愛知県	全国タイル工業組合	<p>【JAPANセラミックタイル海外販売戦略事業】</p> <p>国内においては、外国人参加者が多い「Japan Home & Building Show2011(東京ビッグサイト)」(2010年実績 13カ国454社 来場者数87,638名)への出展を行い、海外においてはチェルサイエ(イタリア)への出展をめざして海外への販路開拓を行う。</p>
14	愛知県	愛知豊明花き流通協同組合	<p>【アジア地域の中核都市である「香港」及び「シンガポール」における、日本産花きのブランド確立の為に展示会「Japan Bloom Fair」と付帯するイベント・プロモーションの実施】</p> <p>日本産花きの輸出先として最重要マーケットであるアジア地域(香港、シンガポール)をターゲットとして、日本産花き展示会「Toyoake Kaki Flower Show / Japan Bloom Fair」を開催するなど、中部地方を中心とする日本産花きのブランド構築・確立を目指す。</p>
15	愛知県	中部製粉工業協同組合	<p>【きしめん・でら・パスタ計画】</p> <p>愛知県の郷土料理であるきしめんを活用し、洋食や中華料理に応用する新たな新商品を開発し、海外市場でもクールジャパンを発信できるブランド化を目指す。ターゲットとする市場はアジアの情報発信地として上海、世界の情報発信地としてニューヨークを想定し、市場調査を実施する。</p>
16	岐阜県	Re-mix Japanグループ	<p>【『飛騨の建具技術によるライフスタイル提案』ブランド育成事業】</p> <p>飛騨高山の伝統的産業製品である「飛騨の建具」の技術を中心に、産地の垣根を越えた異業種(飛騨の家具、美濃焼の陶磁器、岐阜の織物、美濃和紙照明器具、飛騨春慶)によるRe-mixJapanグループを組織して、新しい日本の伝統美を内包するライフスタイルコレクション(製品)を開発して「メン・エ・オブジェ(パリ)」に出展し、海外販路開拓・ブランド化を目指す。</p>
17	岐阜県	岐阜婦人子供服工業組合	<p>【県域を越えた産・学・官との連携による「オリベスク」のジャパブランド化による海外市場開拓事業】</p> <p>岐阜県のブランド推進事業との連携により開発された独自ブランド「オリベスク」について、県域を越えた機関との連携・協力のもと、当組合参加企業と愛知県一宮市を中心とする尾州産地のテキスタイルメーカーが連携し、デザイン開発～素材選定・開発～縫製・仕上げに至る川中・川下連携による製品企画・開発を行い、香港・上海での展示会への出展を通じて販路開拓事業に取り組む。</p>
18	富山県	高岡銅器協同組合	<p>【高岡銅器ブランド戦略構築事業】</p> <p>高岡市の伝統産業である高岡銅器と、鋳物加工技術を融合し、これまでの高岡銅器とは異なる、新たな新商品を開発・製造する。市場ターゲットを中国、台湾などアジアマーケットに選定し、ブランド構築を図る。</p>
19	石川県	財団法人石川県産業創出支援機構	<p>【石川県内航空機部品モノづくり中小企業の海外展開支援プロジェクト】</p> <p>今後の成長が見込まれる航空機部品産業への新規参入、海外展開を目的に業界動向に関する企業視察調査、セミナー・研究会の開催、Nadcapの認証取得、国内外展示会への出展、販路開拓・訪問などを行う。</p>
20	福井県	越前漆器ブランド構築プロジェクト実施グループ	<p>【越前漆器ブランド構築プロジェクト】</p> <p>世界に通用する「越前漆器ブランド」の構築に向けて、1500年の歴史をもつ越前漆器の豊富で優秀な技術を生かし、同時に新しい技術を取り入れながら、また近隣の地域資源も積極的に活用し、器や趣味雑貨を中心に現代のライフスタイルを軸とした提案型の商品開発と発信を行い、国内はもとより欧米やアジアへの進出を視野に入れ、取り組んでいく。</p>
21	福井県	オーバスプロジェクト	<p>【オーバスプロジェクト】</p> <p>鯖江の眼鏡産地におけるメーカー5社が共同でオーバスデザインの名の下に、世界に通用する産地ブランドの育成を目指しデザインアワードの開催、デザイナーやユーザー(小売店を含む)を巻き込んだデザイン企画、販売システムの確立を目指すと共に、参加企業の技術やノウハウを結集して新たな商品開発を行う。</p>

22	京都府	ファッション京都推進協議会	【京(みやこ)素材グローバル展開事業】 西陣織や京友禅などの伝統産業をはじめとする京都のものづくり業界における、海外販路開拓に対応するための経営革新事業。海外は欧州市場を対象に、京都の小規模事業者が持つ技術力、意匠力を駆使して、素材・パーツとしての販路開拓を目指す。
23	京都府	国際茶園協会・ITFA(International Tea Farm Alliance)	【日本茶を世界へ！日本主導の世界の茶文化推進プロジェクト】 日本茶の魅力を世界に伝えたい。だが世界は日本茶だけを求めているわけではない。だから世界の茶産地を連携する協会を設立し、世界の茶文化を推進する。それを日本が主導し、日本茶の真の魅力を世界に伝える。
24	兵庫県	財団法人神戸ファッション協会	【神戸アパレル活性化プロジェクト】 神戸の中小アパレル事業者が、ファッションビジネスにおけるグローバルスタンダードへの理解を深めるとともに、産地メーカーと連携することにより、世界に通用する「プロデュース・バイ・神戸」商品を企画・製作し、販路を拡大する。
25	兵庫県	新播州企画	【オセアニア及びアジア市場開拓プロジェクト】 オーストラリアを含むアジア諸国への播州織製品の輸出振興を目的とし、新たな販売スタイル、現地風土に鑑みたトレンド研究や需要背景の現状調査等、創造の知価値実現の可能性についての研究開発並びに、輸出販路の開拓等新しい物流システムの確立を進める。
26	奈良県	Wood Arrangement	【Wood Arrangement】 原木や既存の木製品ははじめ、永年にわたり伝承されてきた木材加工における特殊技術にデザインを加味し、東アジアを中心として世界が求める木商品を開発・販売する。
27	広島県	府中家具工業協同組合	【ヨーロッパ進出に向けた府中家具ブランド構築事業】 イタリアのミラノは、ファッションはもとより家具インテリアにおいても世界をリードし、常に最先端のデザインを発信している。ミラノで府中家具の良さが認められるとブランド力がアップするとともに商品の販売促進が図れる。そこで、今年度はミラノで活躍する3人のデザイナーを起用し、競い合わせてヨーロッパ向けの商品開発を行う。
28	山口県	長門商工会議所	【JAPANブランド「長州あげ」普及推進プロジェクト】 平成22年度JAPANブランド育成支援事業で実施した戦略策定結果を受け、山口県北浦長門地域の名産の伝統食品である「揚げ蒲鉾(長州あげ)」、「仙崎焼抜かまぼこ」といった高品質な水産練り製品の台湾市場での普及促進を図り、地域の関連農水産物の需要拡大を目指す。
29	愛媛県	愛媛県酒造協同組合	【「愛媛の酒」ブランディング・プロジェクト】 愛媛県内の清酒製造業者の全国に誇りうる醸造技術をバックボーンとした「愛媛の酒」のブランディングに取り組むとともに、現代の洋食文化のマーケットにアピールする新商品の開発を行い、「平成の酒どころ・愛媛」を産地ブランドとして確立し、国内外の販路拡大を目指す。
30	佐賀県	有田JAPANブランド実行委員会	【有田焼の世界ブランド確立プロジェクト】 有田に近く経済成長が著しい中国市場を開拓するために有田焼のブランドを確立する。中国富裕層の有田焼の知名度は高いものの、有田焼の評価は中クラスで、景德鎮や欧米商品に比べブランド力がなく、販売拡大の障壁となっている。これを打破するには早急には有田焼のブランドを再構築し、販売網(流通チャネル)を整備する必要がある。本プロジェクトでは、中国富裕層のライフスタイル調査、中国富裕層向け商品開発、中国流通企業との交流促進、マスメディアと連動したPR展示会を開催し、高級イメージの有田焼ブランドを浸透させる。そして、世界に通じるブランドの確立による海外販路開拓を行い、有田地域の産業再生・地域活性化を目指す。
31	佐賀県	高感度スタイリング陶磁器商品開発グループ	【伊万里・有田焼世界ブランド確立プロジェクト】 佐賀県を代表する地域資源である「伊万里・有田焼」と磁器の軽量・強化技術を組み合わせ、高感度スタイリング陶磁器製品を開発するとともに、「伊万里・有田焼」の世界ブランドを開発し、欧米および中東のホテル・レストラン市場および一般小売市場を開拓する。
32	佐賀県	プロダクトARITA	【日本の伝統文化と有田焼の融合によるアジア市場等販路開拓プロジェクト】 日本の伝統文化の概念を踏まえ、海外の料理を上手く取り入れ独自のスタイルを確立してきた日本の料理とそれを彩る有田焼をアジアに向けて情報発信をする事を目的とし、世界に誇る日本の伝統文化や風習、日本人の美意識や品質へのこだわりといった感性と同時に、モノの背景にある文化的側面やストーリー性などの付加価値をつけた商品で、アジア圏のホテル・レストランなど業務用食器市場を開拓する。

33	大分県	一般社団法人由布院温泉観光協会	<p>【由布院から良質な“ONSEN”文化を世界へ】</p> <p>本プロジェクトは、平成22年度に策定した『「由布院から良質な“ONSEN”文化を世界へ」由布院温泉JAPANブランド戦略計画』に基づき、国内はもとより世界の人々に愛され、評価される「Yufuin」ブランドの確立に向けた事業を実施していく。</p> <p>主に、旅館を中心としたおもてなし、ものづくり、食といった、由布院そして日本ならではの文化についての魅力をさらに高め、それをきちんと理解してもらえるような事業展開を図っていくことで、地域経済の活性化等、地域力の向上に寄与することを目的とする。</p>
34	沖縄県	財団法人沖縄県産業振興公社	<p>【琉球王国古来「沖縄春ウコン」ブランド化プロジェクト】</p> <p>琉球王国古来から受け継がれる沖縄県産の春ウコン「沖縄春ウコン」としてブランディングすることで、国内・海外への販路拡大を推進するプロジェクトである。県内健康食品関連企業70社が参加する沖縄県健康産業協議会の中から春ウコンを製造・販売している5社と事務局の(財)沖縄県産業振興公社が主体となり、平成22年度に策定したブランド戦略に基づいて、春ウコンの定義、国内外の市場調査、商品企画、事業協同組合の設立、地域団体商標の取得、安心・安全の確立、PR及び販売戦略等を具現化し、国内・外に「沖縄春ウコン」の商品の販路を拡大する。</p>

平成23年度「JAPANブランド育成支援事業」採択プロジェクト一覧
(ブランド確立支援事業(2年目))

NO.	都道府県名	事業実施者	事業概要
1	北海道	札幌商工会議所	【ライス愛すプロジェクト】 北海道米の消費拡大を目的として、全道から米粉商品を募集し、その中から審査基準に合格した商品を「ライス愛すプロジェクト商品」と認定し、オール北海道で全国に米粉商品の普及を図る。また、小麦アレルギーに困っている方々に安心して食べて頂ける商品も同時に開発し全国に発信していくとともに、台湾、シンガポールの展示会・商談会へ出展し、海外市場の開拓を目指す。
2	青森県	弘前商工会議所	【「弘前な空間デザイン」ブランディングプロジェクト】 津軽塗や打刃物、こぎん刺し、木工等を「キッチン」、「リビング」というテーマで、欧州に向けた新商品を開発しマーケティングを行う。この新商品は、職人の手仕事や技が反映された「ものづくり」により、メンテナンスを行えば長く使えるため、新商品には「創り手」と「使い手」が「もの」(メンテナンス)を通じた関係性の構築という要素も加える。その結果、職人の技が反映され、関係性に裏打ちされた「もの」が置かれる「弘前な空間」の創出を目指す。
3	長野県	下諏訪商工会議所	【MADE IN SUWA MUSIC BOX PROJECT(和名:諏訪ブランドオルゴールプロジェクト)】 日本を感じる地域資源とオルゴールのコラボレーションを模索し、昨年度の試作品の商品化に向けた取り組みと新素材研究、および新たな商品開発と海外販路開拓を実施する。さらには全く新しい材質のオルゴール開発に大学と共に取り組む。
4	新潟県	財団法人にいがた産業創造機構	【新潟発の総合プレミアムブランド「百年物語」推進プロジェクト】 多彩なモノづくりの土壌を持つ新潟県の生活関連産業をベースに、幅広い業種の参加による新規商品開発やプロモーション活動により、総合的なブランドの構築と、地域産業の創造力と活力の育成を目指す。
5	愛知県	津島毛織工業協同組合	【クリエイティブ津島プロジェクト】 津島の地域資源である津島毛織物は世界でも有数の毛織物であり、後工程でケミカル処理を施した製法で広く認知されている。本事業では、他産地との連携によって毛織物のバリエーションを増やし、中国市場の富裕層をターゲットに津島毛織物を展開する。
6	愛知県	愛知県陶器瓦工業組合	【エコ屋根材・「三州瓦」の海外販路開拓事業】 愛知県の地域資源である三州瓦のブランド価値を高め、環境に配慮した新しい瓦を海外市場に展開する。特に成長著しい中国市場での販路開拓を目指し、上海での展示会に出展し、三州瓦のPRや情報収集を行う。
7	京都府	城陽商工会議所	【燦彩系プロジェクト】 城陽地域に古くから伝わる地場産業「金銀糸」に、新たなブランドネーミングである「燦彩系」を設定しブランドコラボ商品の拡充を目指す。今年度は海外市場に通用する試作品の開発や、引き合い先獲得のためリアルサイトやWEBサイトの立ち上げを行う。
8	大阪府	和泉商工会議所	【和泉の人造真珠における新素材開発および素材ブランド化事業】 これまでの取り組みによって立ち上げられた人造真珠ブランド「HK」を活用し、市場拡大の可能性を調査する。本事業では、人造真珠の「素材としての価値」に着目し、「真似ができない技術・品質」と「見ればわかるデザイン」を効果的にPRし、海外展示会への出展を通じ市場調査を実施する。
9	大阪府	チーム・テナージュ	【テナージュ(天然木自在シート)のニュー・プロダクト】 天然木を従来不可能だった技術(縫製・刺繍、織物、等)により、かばん、バッグ、財布等袋物製品の総合ブランドを構築する。
10	愛媛県	宇和島商工会議所	【宇和島パール「Sea Lovers/シーラバース」】 産地内におけるパールの養殖、一次加工、企画、デザイン、二次加工、卸・小売り等に至る一貫したプロセス構築を行い、「パール産地宇和島ブランド」として国内外へ広く市場展開を図ることを目的に、新たな商品・クラス(留め金)・エンブレム(ブランドマーク)を開発し、視覚的に宇和島ブランドを証明する手法を活用して、他産地との差別化を図る。
11	福岡県	北九州商工会議所	【小倉織(KOKURA STRIPES JAPAN)世界進出プロジェクト】 長い歴史を持つ小倉織の技術と、現代のデザインを融合させた新たな商品を開発し、欧州での展示商談会に出展し、海外市場でのマーケティング調査を実施する。

12	沖縄県	一般社団法人沖縄県調理師会	<p>【「琉球スイーツ」ブランド形成プロジェクト】</p> <p>沖縄の豊かな食資源や食文化を活用し、「琉球スイーツ」の開発、ブランド化を目指す。開発には世界トップクラスのパティシエの協力を募り、沖縄の農水産物を使用した新商品を展開し、中国や台湾を中心とした富裕層をターゲットに「沖縄スイーツ」を発信していく。</p>
----	-----	---------------	---

平成23年度「JAPANブランド育成支援事業」採択プロジェクト一覧
(ブランド確立支援事業(3年目))

NO.	都道府県名	事業実施者	事業概要
1	東京都	東京商工会議所	【リビング・デザイン 東京(ブランド名:tobi)】 江戸時代から培ってきた技術を受け継ぐ東京の家具製造業活性化のため、「東京」をイメージしたデザインの家具を通じて新たなライフスタイルを提案し、これをモノづくりで表現し、世界に発信するプロジェクトである。
2	山梨県	山梨県ワイン酒造協同組合・甲州市商工会・甲府商工会議所	【「甲州ワイン」のEU輸出プロジェクト】 世界的な和食ブームを背景に、品質の高さが認められワイン評論家やジャーナリストから注目されている日本固有の「甲州ブドウ」から造った「甲州ワイン」を、ワインの本場であるEU市場に輸出することで、「甲州ワイン」の世界的な認知と産地確立や市場拡大を目指す。
3	和歌山県	紀州繊維工業協同組合	【「KOYAGUCHI PILE」ブランドの構築】 高野山の麓で生産されるパイル織・編物を「高野ロパイル」とブランド化し、国内外の国際的な展示会への出展やPR事業の実施を通し、その成果を踏まえ「オリジナリティ」、「価値」が明確に伝わる新商品を開発する。
4	福岡県	東峰村商工会	【小石原ボタリー(陶器)ブランド化事業～民陶モダニズムを世界の食卓へ！～】 民陶モダニズムを世界へ。 小石川焼は300年来の伝統を持つ九州を代表する民陶。柳宗悦やバーナード・リーチらの「民藝」運動によって「用の美」と称された丁寧な無名の手しごとは、今も脈々とその作品に息づいている。本プロジェクトは、この確かな「手しごと」に再びブランド価値を見出し、世界に発信できる本物の「モノづくり」を行ってほしいという、言わば新しい「用の美」運動。伝統技法を取り入れると同時に、現代の食のライフスタイルにフィットするモダンデザイン、新しい器のカタチの創造を追及している。「料理をおいしくする器」をコンセプトに、民陶モダニズムのブランド構築を行う。
5	大分県	佐伯寿司海外展開プロジェクトチーム	【「世界一・佐伯寿司」海外展開プロジェクト】 東九州有数の水産都市・大分県佐伯市の誇る「佐伯寿司」を、“世界一・佐伯寿司”として国内外に通用するブランドに育成するために、成長著しいアジアの大都市を中心に店舗展開し、併せて佐伯産水産物を加工した寿司ネタの流通を推進する。
6	鹿児島県	鹿児島県商工会連合会	【中国食文化融合による「鹿児島”好吃(Hao Chi)”料理」の創造】 毎年6000万人の観光客を迎える香港におけるメニュー開発をヒントに、鹿児島島の薩摩料理や長寿食である奄美の島料理(料理手法や食べ方)を「鹿児島式」として海外展開できるメニュー及び新商品開発を行う。